

学校だより でんでんむし ～たとえ歩みはおそくとも、もどることない確かな歩みを～

北海道美唄養護学校

令和4年10月7日（金）

通巻224号

「命を守る」ということ

北海道美唄養護学校 教頭 長島 英子



新学期が始まり、少し背が伸びたたくましい児童生徒の皆さんの姿に出会い、大変頼もしく思いました。また、校舎と寄宿舎に笑顔と元気な声があふれ、とてもうれしく思います。

2学期は、学習発表会、学校祭、宿泊行事、現場実習をはじめとする、各種学校行事を実施しています。それぞれの場面で、一人一人の児童生徒が活躍し、元気で楽しく、学びのある学校生活の実現に向けて教職員一丸になって力を尽くしていきます。

胆振東部地震での経験をもとに、本校でも自然災害等から「命を守る」ことについて取り組んでいます。9月までに下記の防災訓練や防災教室を実施しました。それぞれの訓練においても児童生徒の皆さんは、真剣な表情で、また集合場所に落ち着いて整列し、自分の命を守るために懸命に取り組んでいます。今後も経験を積み重ねていきたいと思っています。

- 5月 火災避難訓練（学校）
火災避難訓練（寄宿舎）
- 6月 不審者対応訓練（寄宿舎職員対象）
- 7月 不審者侵入想定訓練（学校職員対象）
- 8月 防災教室
地震避難訓練（学校）
夜間火災避難訓練（寄宿舎）

また、今年度から美唄警察署とも連携し、災害時の協力依頼をはじめとした、災害時の体制の強化をすすめています。今後も、学校生活のいつどのような場面でも「危機管理意識」を高くもち、「安心・安全な学校づくり」のために努めています。

保護者の皆様におかれましても、2学期も引き続き本校への御支援、御協力を賜りますようお願いいたします。

小学部

学部目標

「経験を広げ、生活する力を身に付ける」

- ・基本的な生活習慣を身に付ける。
- ・友達や教師と一緒に活動する態度を養う。
- ・様々な経験を通して興味や関心の幅を広げる。
- ・体を動かし、丈夫な体を作る。
- ・コミュニケーションの基礎的能力を養う。

ここ2、3年は新型コロナウイルスの感染拡大により、小学部の教育活動の在り方も大きく変容しました。そのような状況下においても、小学部では『個の学び』と『集団での学び』の双方をバランス良く取り入れ、より充実した学校生活になることを大事にしています。今年度前期は、感染症対策をしながら、運動会や社会見学、校外学習などの行事にも取り組むことができました。



学習活動の様子



運動会

小学部運動会は、今年度から天候に関わらず体育館で実施することになりました。グラウンドでの実施に比べて応援してくださる御家族の皆さんとの距離も近く、子供たちはより一層、張り切って体を動かしていました。



社会見学

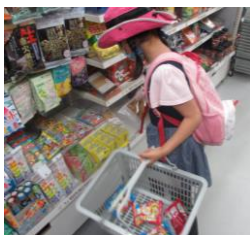
3年ぶりに、砂川市の北海道子どもの国に行くことができました。大型バス2台で移動し、ふわふわドームやトロッコ列車などの遊具を楽しんだり、レストランでの食事を楽しんだりすることができました。



校外学習（低中学年）



1～4年生の校外学習では、タクシーを利用して美唄駅まで行き、そのあとコアビバイで買物をしました。買物のあとは、店内に展示されていたウーパールーパーに興味深く観察するなど、校内では経験できないことがたくさんありました。



校外学習（高学年）

5～6年生の校外学習では、市民バスを利用してコープ美唄店まで行き、それぞれ昼食を購入して近くの和田公園で食べました。学校や自宅とは違い、テーブルや椅子のない屋外での昼食は、楽しさも難しさもあったようです。



中 学 部

学部目標

「意欲的に取り組み、生活する力を伸ばす」

- ・健康的な生活を送るための生活習慣を養う。
- ・人との関わりを通して社会性を身に付け、集団で行動する力を養う。
- ・自ら進んで学び、行動する力を養う。
- ・日常生活の中で身体を動かす習慣を養う。
- ・周囲の人々と気持ちを伝え合う力を養う。

中学部は現在、23名の生徒が在籍しています。感染拡大防止に努めながら、日常生活の指導や国語、数学は学級を中心に取り組み、音楽や体育、美術の他、作業学習などは学部全体で取り組んでいます。

遠足や体育大会、泊をとまなう学習、校外学習などの行事では、仲間と切磋琢磨し集団での活動のなかで、自分の強みを一人一人が発揮して、日々成長しています。

学習活動の様子



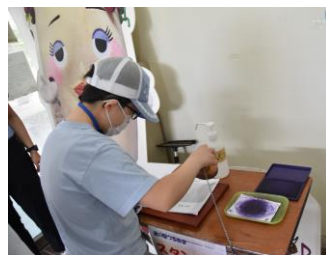
体育大会

紅白のチームに分かれて、短距離走やボール投げ、サーキット運動をもとにしたリレーの3種目で競い合いました。仲間同士で励まし合いながら最後まで熱戦を繰り広げました。



中3 見学旅行

登別、千歳方面に2泊3日で見学旅行に行きました。マリニパークニクスや登別伊達時代村で、海の生物に触れたり、時代劇のアトラクションを体験したりと思い出に残る時間を過ごしました。



中2 宿泊学習

札幌、新さっぽろ方面に1泊2日で宿泊研修に行きました。JRや地下鉄などの公共交通機関を利用して、JRタワーや青少年科学館へ行き、貴重な経験をすることができました。

中1 校外学習

貸切バスを利用して奈井江町、浦臼町、三笠市の道の駅に行ってスタンプラリーをしました。その後、イオン三笠店で昼食を食べたり、買物をしたりしました。

高等部

学部目標

「地域社会とのつながりを意識し、生活する力を身に付ける」

これまでに培ってきた力を、社会に出てたくさんの人との関わりの中で生活していくために生かせる力として身に付けることを意識して学習活動を進めます。

学習の様子を紹介します

高等部 陸上記録会



7月15日(金)、高等部の陸上記録会を実施しました。

100m走、立ち幅跳び、ボール投げに、今年度は走り高跳びを加えて、全4種目に挑戦しました。一人一人が自己ベストの記録を目指して全力を尽くしました。

また、用具の準備、アナウンス、記録などの運営面でも、係に分かれて個々の役割を果たしました。

1 学年 現場実習

9月13日(火)～15日(木)、美唄市内の事業所で現場実習を行いました。

学校の外で活動する緊張感を味わったり、作業への集中力や体力、挨拶や返事の大切さを感じたりと、とても貴重な経験ができました。



2 学年 校外学習

9月1日(木)、JRを利用して岩見沢市へ出掛けました。

市内ではグループに分かれて、事前に調べたお店でパンを選んで購入。イベントホール赤れんがの一室を借りて、美味しくいただきました。



3 学年 生活単元学習

コロナ禍の影響により、9月に予定していた見学旅行の計画を変更しました。それに伴い8月25日(木)の校外学習も変更し、生活単元学習を行いました。「食」の学習として市内のコンビニエンスストアで昼食を買いました。

栄養のバランスや、適切な量などに気を付けて選んでいました。



寄 宿 舎

目標

「豊かに生活する力を身に付ける」

- ・挨拶等日常的なコミュニケーション能力の向上を図る。
- ・寄宿舎生一人ひとりの発達段階に応じた基本的生活習慣の確立を図る。
- ・社会参加・社会自立に向けた適応力を高める。

今年度の寄宿舎は、小学部1年生から高等部3年生までの29名が入舎しています。年齢は様々ですが、仲良く楽しく、元気に生活しています。「豊かに生活する力を身に付ける」ために必要な様々な学びを、一人ひとりに適した方法で日常的に少しずつ進めており、児童生徒たちは日々確実に成長しています。

日常生活の様子



生活スキルの向上・自立を目指し、毎日掃除や布団敷き、洗濯などの様々な活動に取り組んでいます。初めは難しくても、実態に合わせ支援を受けながら経験を積むことで、一人でできることが少しずつ増えていきます。中には、自分で洗濯機を操作し、洗濯物を一人で干したり畳んだりしている生徒もいます。

余暇活動の様子



ミニ縁日

各学期1回程度、ブロック単位での余暇活動を実施しています。鬼ごっこでは、水鉄砲を持って元気いっぱい走り回る児童生徒の姿がとても印象的でした。ミニ縁日では、部屋ごとに看板づくりや飾りづくりに取り組みました。当日は浴衣に着替え、ヨーヨーすくいやひもくじを行い、子供たちの表情は満面の笑みであふれていました。

鬼ごっこ



買物

買物では、それぞれに食べたいおやつや飲み物などを選び、電子マネーで支払いをしています。何を購入しようか、目をキラキラ輝かせながら商品を選んでいます。